

川崎市立川崎病院通信



川崎市立川崎病院
シンボルツリー



川崎市立川崎病院の基本理念

私たちは、地域の基幹病院として、他の医療機関と連携し、「病気」でなく「病人」を診る心を大切に、安全安心で質の高い医療を、患者の皆さまとともに考え、実践し、健康と福祉の向上を通じて地域社会の発展に貢献することを目指します。



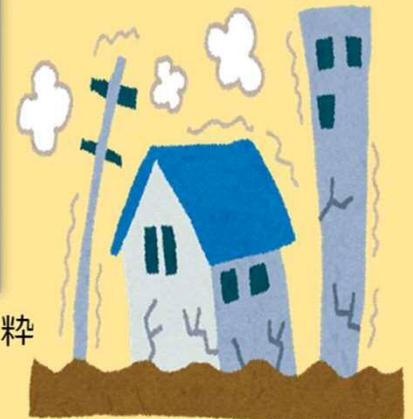
川崎病院の災害対策特集

9月は「防災月間」ということを知っていますか??

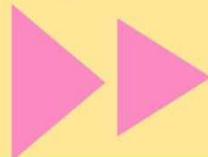
川崎病院では、令和2年2月より、災害医療企画室を設置し、災害時対応マニュアルの検討、院内での災害教育や災害対応訓練の企画、災害備蓄や物品管理、災害医療チーム（DMAT：Disaster Medical Assistance Team）の管理等、災害発生時の準備に取り組んでいます！

川崎市直下型地震（最大震度6）がおきた場合の被害想定は・・・

全壊棟数	22.329棟
半壊棟数	49.798棟
出火件数	243件
焼失棟数	16.395棟
死者	819人
負傷者	15.822人



資料出所：川崎市地震被害想定調査（平成25年）より抜粋



NEXTPAGE

災害派遣医療チーム(DMAT)とは!?

災害派遣医療チーム（DMAT）とは！？

川崎病院のDMATについて

川崎病院には、日本全国をカバーする日本DMAT（神奈川県内にある病院の日本DMATを神奈川DMATと呼びます）、神奈川県内を活動範囲とする神奈川DMAT-L、川崎市内の局地災害で活動する川崎DMATという3つのDMATが存在しています！

日本 DMAT
神奈川県内の日本DMATは神奈川DMAT

「災害急性期に活動できる機動性を持ったトレーニングを受けた医療チーム」

自分たちの移動手段や資機材は自分たちで確保・持参

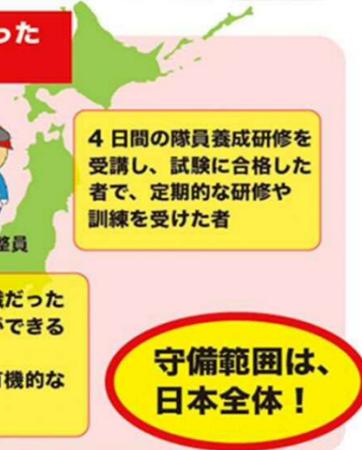
4日間の隊員養成研修を受講し、試験に合格した者で、定期的な研修や訓練を受けた者

医師 看護師 業務調整員

発災後可及的速やか（48時間以内）に被災地に入る
活動期間は移動時間を除き48時間

被災地内で組織だった活動を行う事ができる医療チーム
他の組織とも有機的な連携を図る

守備範囲は、日本全体！



神奈川 DMAT-L

局地災害対応に係る専門的な研修、訓練を受けた災害派遣医療チーム

医師 看護師 業務調整員

追加の研修で、日本DMATになれます

災害拠点病院または災害協力病院から派遣されます。

守備範囲は、神奈川県内！



川崎 DMAT

川崎市が実施する局地災害対応に係る専門的な研修、訓練を受けた災害派遣医療チーム

医師 看護師 業務調整員

川崎 DMAT 連携隊と呼ばれる川崎消防救急隊と共に活動する

守備範囲は、川崎市内！



川崎病院のDMAT隊の活動実績

①平成23年3月 東日本大震災

被ばく患者発生に備えるためのいわき待機DMATとしての派遣と、立ち入り禁止区域となった地域から避難した住民が必要な荷物を取りに行くための一時立ち入りの際の健康チェックや放射性物質による汚染の評価のための派遣を行いました。

②平成27年9月 関東・東北豪雨（鬼怒川氾濫災害）

派遣要請がある前から豪雨による影響を警戒し、情報収集をしながら備えていました。派遣要請後、水没した病院から入院患者を船で救出し、医療を継続できる病院に転院搬送する現場に派遣されました。

現場では、当院のチームが関東地域から参集した数十隊のDMAT隊のリーダーとなり、消防、自衛隊と協力しながら活動し、約10時間かけて80名程の転院搬送を実施しました。

③令和2年2月～ 新型コロナウイルス感染症対応

クルーズ船ダイヤモンドプリンセス号で拡大してしまった新型コロナウイルス感染患者対応のために、川崎市内のDMAT隊員と神奈川DMAT-L隊員が、神奈川県庁や大黒埠頭フェリーターミナルに派遣されました。当時はまだ受け入れ可能な病院は少なく、仮に、神奈川県内に全ての患者を収容すると県内の医療が崩壊してしまう状況でした。そこで、北は宮城県、西は大阪府までに渡り、罹患した乗客乗員700名以上を搬送しました。日本全国のDMAT、自衛隊、民間救急等が協力してくれました。





災害がおきたらどうすればいいの??

家屋の倒壊や火災により自宅での生活ができない、もしくは近隣の火災が拡大するなどの危険な状況や避難勧告・避難指示の発令時に避難を始めてください。その際、停電時でも使用可能なラジオやスマートフォン、行政のサイトなどから正しい情報を得ることがとても重要です。

また、避難時は原則徒歩で移動をしてください。車での移動は渋滞による逃げ遅れや緊急車両通行の妨げになります。

★避難時のポイント★

- ①火災予防の為にガスの元栓を締め、ブレーカーを切る。
- ②瓦礫などで怪我をしないよう、底が丈夫な靴や長袖長ズボンを着用する。
- ③防犯の為に戸締りをする。

災害時にあると便利なもの一覧



- 【水・飲料】 飲料水、非常食
- 【医療・衛生】 常備薬、お薬手帳、救急医療品、生理用品、口腔ケアセット、マスク、手指消毒剤、携帯トイレ
- 【貴重品】 現金、印鑑、保険証、預金通帳
- 【道具類】 携帯電話、充電器、携帯ラジオ、懐中電灯、電池、携帯カイロ、義歯、眼鏡、補聴器
- 【生活用品】 ウエットティッシュ、タオル、ゴミ袋

※乳幼児の場合は、ミルク（哺乳瓶）と共にお菓子などがあるとよいです。災害時はストレスから母乳が出にくくなる場合があります。

※災害時は、電子決済やATMが使用できない場合があります。



日頃の備えが大切です！

〈文責：災害医療企画室〉

患者さんの権利

当院は、患者さんの医療にかかわる、次の権利を尊重します。

- 1 生命の尊厳と、人格を尊重した医療を受ける権利があります。
- 2 安全安心で質の高い医療を平等に受ける権利があります。
- 3 ご自身の病気や治療について知る権利を持ち、わかりやすく説明を受け、希望や意見を述べる権利があります。なお病名や予後について知りたくない場合は、そのお気持ちを尊重します。
- 4 ご自身が受ける医療を自らの意思で選択あるいは拒否する権利があります。
- 5 ご希望により、診療のいかなる段階においても、他の医師および他の医療機関の医師の意見（セカンド・オピニオン）を求める権利があります。
- 6 診療上の個人情報には厳重に保護され、その秘密は守られます。

〔発行元〕 令和5年9月19日発行（第50号）

発行責任者：渡辺 貴彦／編集：広報委員会

事務局：川崎市立川崎病院庶務課 川崎市川崎区新川通12-1 電話：044-233-5521

<http://www.city.kawasaki.jp/32/cmsfiles/contents/0000037/37858/kawasaki/>